



生成AIを活用した中国文化理解と発信型学習の実践

外国語教育センター 特任講師 王 欣

初級中国語の授業および授業外活動において、画像生成AIや動画編集ツールなど、様々な生成AIツールを活用し、中国文化への理解を深める学習活動を実施しました。授業では「七夕」を題材に、中国と日本の七夕の違いや特徴を学んだうえで、学生が約3分程度の動画を制作しました。学生は、物語の内容や場面構成、人物像、雰囲気などを考え、AIとの対話を通して表現を調整しながら、学んだ内容を自分なりに整理し、他者に伝える経験を得ました。

また、中国の春節期には、生成AIツールを活用して中国の友人に贈るデジタル賀状を制作する企画も行いました。学生は、中国の春節に見られる視覚的特徴や祝福の表し方を参考にしながら、中国語で祝福の言葉を書き添え、文字と画面の両面から祝意を表現しました。これらの取組は、外国語学習、文化理解、デジタル活用を結びつけた主体的な学びを促すものであり、SDGs 4「質の高い教育をみんなに」の理念に沿う教育実践です。



注：授業で制作された学生作品の一部を抜粋・再構成して掲載しています。